

とよなか 環境



ニュースレター

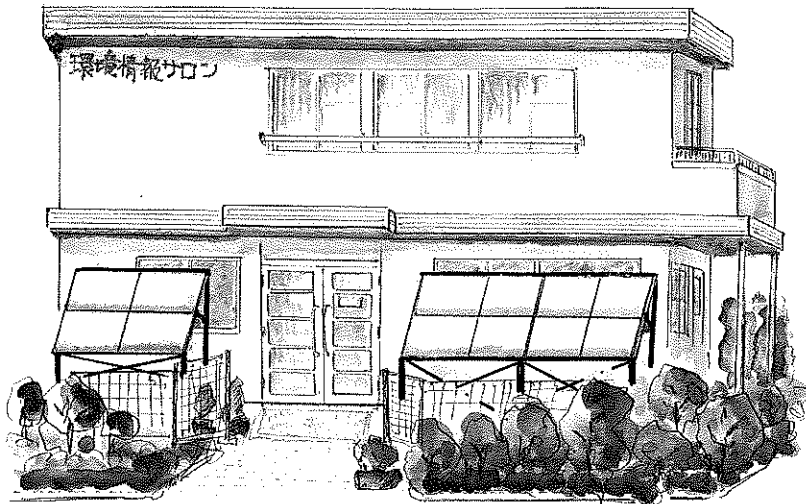
発行：NPO法人とよなか市民環境会議7ツェツダ 21
編集責任者：奥野 享
事務局：豊中市環境情報サロン内
〒561-0804 豊中市普根南町1-4-3
Tel:06-6863-8792 Fax:06-6863-8734

この号のハイライト

P.1 エコSUN市民発電/P.2 自然ふしぎ発見クラブ/P.3 学校菜園支援事業/P.4~.5 環境展特集、環境と私/P.6 環境出前授業/P.7 とよなか市民環境会議/P.8 今後のスケジュール

2008年(平成20年)春号 NO.22 (通巻第40号)

地球がピンチだからエコSUN市民発電



るか分かりません。私たちにできることができ、あなたたちにできることをやってください)

〈1つでも自分ができるところをはじめます。ずっと続く住みやすい地球に私たちの星《ちきゅう》がいつまでも元気でいますよう〉

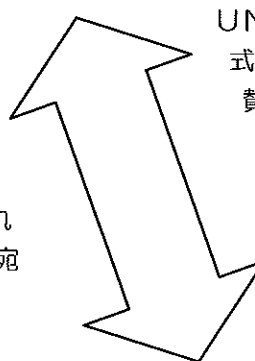
〈地球をいっぱい傷つけてごめんね。恩返しをします〉

太陽光発電パネルの設置へ青写真できる

左上のイラストは、環境情報サロンの前に取り付けようとしているエコSUN市民発電の想像図です。3月には竣工式をする予定で、エコSUN市民発電に賛同する寄付も集まりつつあります。

今のところ、寄付金98万円と出資金として16万円、目標にはまだとどきませんがもうひと踏んばりして予定通りに滑り出そうとがんばっています。よろしくお祈りします。

12月7日、8日におこなった環境展では「未来へのメッセージ」を来場した子ども達に書いてもらいました。いろいろなニュースに接している子ども達は、地球温暖化についても、その原因が二酸化炭素の増加にあることをよく知っています。それだけに私たち大人の責任の重大さを痛感させられました。以下は80枚あった子ども達の未来の地球宛のメッセージから抜き出したものです。



子どもから未来の地球へお手紙

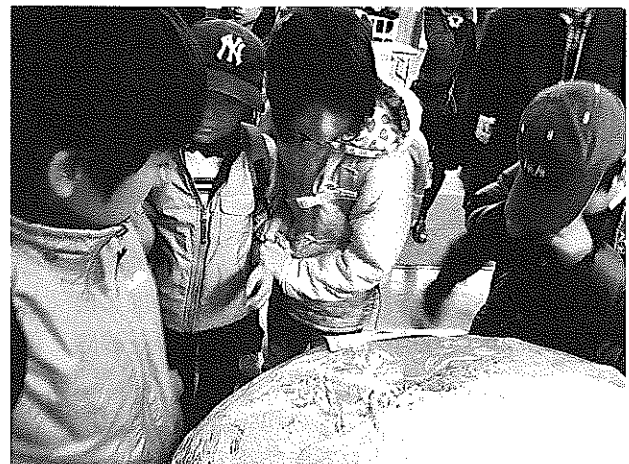


〈未来の地球はどうですか？ 石油はありますか？ 資源はありますか？ がんばって温暖化にたえてください。がんばってください〉

〈空気がきれいで、お花や草木がいっぱいな未来がいいな〉

〈にさんかたんそはどれくらい減っていますか？ 自然をなくさずにして、いろんな生き物をすまわしてほしいです〉

〈今の地球は温暖化がすすんでかわいそうです。今の私たちにできることをします。未来はどんなことにな



地球の中に手紙を入れる子ども達



自然部会

北摂の動物の現状と共生の可能性

自然部会では、2007年度も3回の自然学習講座を開催しています。第1回自然学習講座は、2007年12月14日の夜に、中央公民館3階の視聴覚室にて「北摂の動物の現状と共生の可能性」というテーマで行いました。講師は大阪市立自然史博物館の和田岳さんで、参加者は24名でした。

和田さんは、大阪府下の鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類の生息状況に関する研究などをされておられるため、今回の講座では、大阪に生息する哺乳類や両生類についての紹介をしていただきました。

特に、大阪府下では、哺乳類よりも両生類の減少が目立っていて、ニホンヒキガエルやトノサマガエル、アカハライモリ、ダルマガエルなどが大幅減少しているとのこと。大阪のカエルを守るためには、カエルツボカビ症対策や水辺の自然のネットワークの維持と復活などが必要だと説明されました。また、動物の現状を把握するためには、標本や観察情報・フィールドサインが必要であり、私たちの活動で得た情報を提供することが、より充実した大阪府下の状況把握につながることもよくわかりました。

(廣田学)

ホカホカ焼きいも大会

自然ふしぎ発見クラブ

今年のはじめての自然ふしぎ発見クラブは、寒波が続く1月26日、千里中央公園で行われました。千里中央公園は豊中市と吹田市の境にあって、雑木と竹の広い自然林や、安場池、子どもに人気のローラー滑り台などがあって近辺のたくさんの両市民に親しまれています。

当日は、午前10時の集合時間で気温4度の薄氷も残る寒い日でしたが、33名(内、子ども21名)の参加があり、自然部会の山口さんが講師となって、水鳥の観察から始まりました。安場池には3年前からオシドリが来るようになりましたが、この日はオシドリに加えてマガモも来ていました。全員がスコープや双眼鏡でその美しい姿を見ることができました。タンポポのロゼットを見つけては、葉が冷たい風を避けて温かい地面に沿って広がる智慧について説明され、桜の冬芽を見せて花になる芽、葉になる芽を観察しました。また、沼地や湿地を好むラクウショウ(沼杉)は、地上に根を出す気根があることを説明されました。参加した子ども達をはじめ全員が自然のふしぎな仕組みを改めて感じられたことと思います。

自然観察のあとは、お待ちかねの焼きいも大会です。全員で落ち葉を集め、いもを新聞紙でくるみ、水によ

く濡らせてアルミホイルに巻き、火の上に置いて落ち葉をかけて焼きあがり待ちます。待つ間、子ども達は自然部会で作っておいた竹のフラフープで遊んだりローラー滑り台を楽しんだりしました。おいしく焼けた焼きいもを皆で食べて、12時過ぎの散会となりました。直前の焼きいもの印象が強すぎたか、感想の多くが「焼きいもがおいしかった」でしたが、自然のことが判って大人も勉強になったという声もありました。

なお、当日はラジオのFM千里からも取材を兼ねて参加があり10時30分ごろより10分間、キッ

ズレポーター(小学生の女子)により、観察会の様子が実況生中継されました。また、レポーターから「アゲハ蝶を飼育しているが、サナギになってずいぶんになるが、死んだのか心配。間違いなく蝶になるのか」と質問

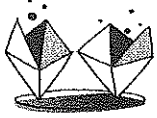
が出され、山口さんが変態の説明をされ大丈夫と太鼓判を押されたのが千里周辺のFMラジオ(83.7MHz)で聞けたはずです。

(佐々木忠弘)



環境クイズ

生き物の中には「ホンマかいな〜!?」と疑うような種名の持ち主がいます。次のうち本当にあるのはどれでしょう? ①イトコノアナオトシ、②ウバステヤマコロシ、③ママコノシリヌグイ



花と緑のネットワークとよなか

学校菜園支援と環境（食）教育の実践

花と緑が農体験通じて10校と関係づくり

花と緑のネットワークでは「とよっぴー農園」（原田苗圃内）を活用した農体験事業を、この間、JT（日本たばこ産業KK）のNPO活動助成などを受け、幼少児・大人を対象に実施してきました。この活動は、作物の栽培から収穫まで、自らが関わ



ることで土や土壌中の虫に触れたりして自然の営みを体験する一方、栽培を通じて育（そだ）ちを学ぶとともに、大地への畏敬の念や恵みに感謝する気持ちを育（はぐく）むことを目的としたものです。

約3年以上の活動を経た教訓として本年は、『セブンイレブンみどりの基金』を受けたことを踏まえ「とよっぴー農園」だけでの活動でなく、メンバーが外へ出かけることで幼少児との交流と学校・園の菜園での作物栽培支援を通じた環境教育（出前講座）を実践する気運が生まれました。

そのため、当面、小学校に絞って相手先と協議した結果、10小学校から栽培支援の要請があり、学校側と連携を取りながら栽培における適切な支援を立て、児童と一緒に汗を流す計画を基本に実践したところ、作物の生育や情操の面で多くの成果を得ることができました。

菜園支援と環境教育は、メンバーのうちの農業従事者や経験者を中心に行いました。対応した回数は延べで25回に及び関係した全児童数は2千人を越えました。

現在、活動の反省も含めた総括をまとめており、次年度に向けてアンケート調査の実施と、昨年の10

校には一歩進んだ関係づくりをめざすことになっています。

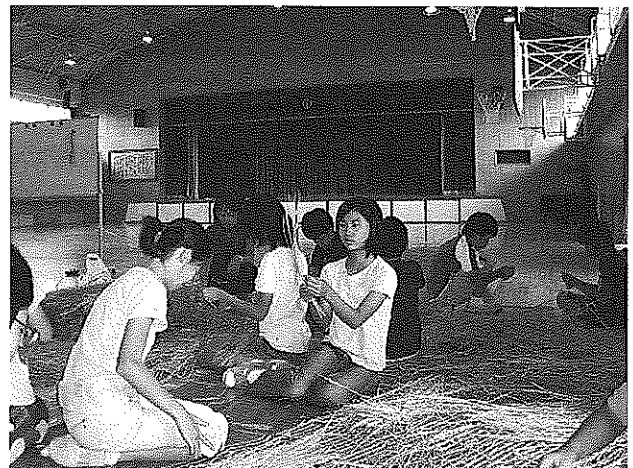
なお、対象小学校は、少路小・桜塚小・北丘小・原田小などでした。（中村義世）

児童の歓声こそ活動の源泉 多様なニーズに圧倒される

2007年2月より、学校・園の菜園に関するアンケート調査にもとづいてアドバイスを受けたいとの希望校・園の内、私は北部地域担当の7校（園も含む）を逐次訪問しました。

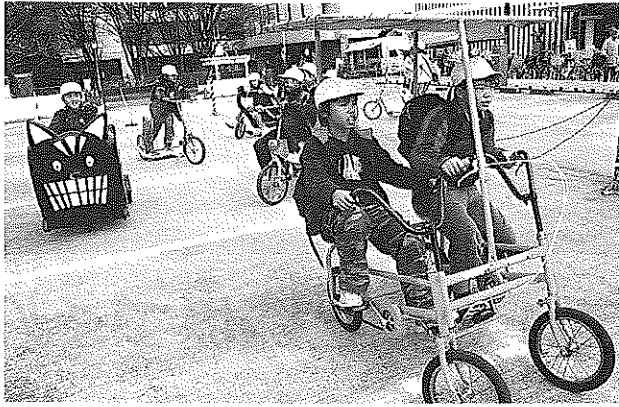
約1ヶ月の予定での担当校への調査をしながら学校・園からの要望、希望を拾いました。実際訪問して見ると要望が学校樹の管理剪定から菜園栽培法、菜園土壌の問題、落葉堆肥、果ては、耕運機の修理の依頼と要望が多岐に亘りました。新学期が始まって以降は、各担任の先生に集まって頂いての菜園での肥料の施し方や夏野菜の植付けのポイントのアドバイス。校内水田のある所は、田起こし、田植え、

藁で箒を作っているところ



稲刈りと児童と共に楽しく体験学習をしました。

そして夏以降は総合学習の時間を使わせてもらい「食の循環と農業」の学習講座を順次実施し、今年度の菜園支援も終え、次年度への抱負を温めているところです。（岸田興次）



変わり自転車が大うけでした

変わり自転車が10種類並んだ市民会館前の駐車スペースは、2日間とも子どもの歓声が絶えませんでした。

10種類の変り自転車は河内長野市のサイクリング遊園地から借りたもので、安全を考慮してどれも3輪以上の車がついているものばかり。珍しいのは車のシャフトが少しずらして取り付けられてあり、走るときに大きく左右に揺れる三輪車。電車の形やバナナなど果物の形をした楽しそうな三輪車。

見ていて面白そうだったのは、片足で上下動のペダルをキックしながら走らせる三輪車。同様に両足でキックするものは全身運動だからさらに楽しそうです。

でも子ども達に聞くと人気があったのは意外にも兎をかたどったごくありふれた姿の3輪車。スピードがよく出るらしく、猛スピードで走らせています。一周回ってきたら急ブレーキをかけます。それでなくても磨耗しかけていたタイヤがすぐぼろぼろになり、修理屋さんを引き受けていたスタッフはパンク修理に大忙しでした。

とよなか市民環境展2008 来て見て遊んで考えよ

12月7、8日に市民会館で開催した環境展は総参加者は去年の3300人をさらに1000人も上回る人数でたくさん見学に来てくれました。参加した学校数は前年のも合わせて約1600人でした。出店団体も前年の55団体の特別展示こそできませんでしたが、変わり自転車で遊ぶことを」のスローガンに即した内容になり、参加団体にも

ダンボール板の汽車ポッポ



微笑ましかったのは「赤ちゃんからのESD」。紐の中にはいつて遊ぶ汽車ポッポを、紐の代わり

に段ボール紙を長くつないで側面に電車の絵を描いて、いかにもそれらしく仕上げたもの。小さな子ども達が大集会室からロビーまで会場内を縫うように走りまわっていました。

そのほかにも身近にあるおもちゃを展示。赤ちゃんや幼児が楽しく遊べるコーナーを作っていました。

環境とわたし

桜が好きで20年前から日帰りで桜を訪ねるのが楽しみだった。雪深い里で千年を超える老桜に感激！

20年前は4月19日に満開だったのに、近年では10日ほど早くなっている。「何か変？」と感じ始めたのが、環境への第1歩だったかも。

生協活動で「あなたの環境度チェック表」や「身近な水調べ」などがおもしろく、今の環境家計簿運動につながった。子ども達が巣立ってからは家でのCO2削減が思うようにできて、楽しささえあった。

ところが一昨年、突然に生後10日目から孫を預かり育てることに…。それまでの夫婦2人だけの気楽な生活が一転。たちまち水道使用量は2倍、

⑩ 今井文子さん

生活部会・企画屋本舗



電気・ガスは1.5倍になった。3人になったのだから当然だが、悩んだのが紙オムツによるごみの重さ。見かねた友人が布オムツを縫ってくれ、併用する。少し「ホッ」。

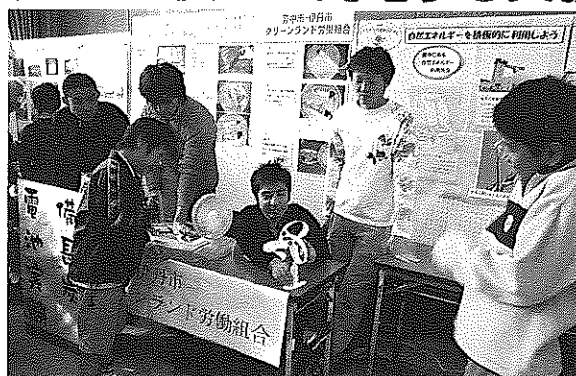
こんな中で、減ったものもある。ガソリンだ。以前は共通の趣味であるハイキングや登山にふもとまで車で行き、温泉で汗を流して帰宅するのが楽しみだった。家での省エネが1回のドライブでパーになったりした。トータルで見たらプラスマイナス・ゼロか？

これからしばらくは孫に合わせ「早寝早起き、昼間は散歩」と言う究極の省エネにチャレンジ！

07 よう！地球環境のことを

人数が子どもも合わせて4300人（スタッフも含む）。こ
した。1日目には学校行事として小学4、5年生が揃って
11校より増えて16校。子どもの参加はクイズ大会など
団体から57団体に増加。とくに今回は、ソーラーカーなど
ことができ「来て・見て・遊んで 考えよう！地球環境の
ほぼ満足していただけたと言えるでしょう。

備長炭を使って発電する実験



大集会室にあったいろいろな実験も興味深いものでし
た。備長炭をアルミホイルで包み塩水に浸すことで電気が
起こるのです。単三乾電池1本分の電気が作れるとか。
電気を起こし続けるとアルミホイルがだんだん腐食して
くるので寿命は短いそうです。それでも小さな扇風機が
ぐるぐると廻っていました。

映画「不都合な真実」の無料上映も
なお、今回はアル・ゴアさんの映画「不都合な真実」
を、ノーベル平和賞受賞記念として無料上映会を行いま
した。2回の上映で合わせて479人の鑑賞者があ
りました。

フードマイレージのカルタ

フードマ
イレージの
ことばが流
行りましたが農産物な
どの品目ご
とに絵入り
のかるたに
なっていて、
裏を見ると



フードマイレージがどれほどになっているか、数値化さ
れているのが魅力的です。大気汚染公害で運動を続けて
きた西淀川区の「あおぞら財団」の出展でした。

全体を見終わって いつも出展してく
れる西日本衛材のK
さんが話していました。「トイレットペーパーにする古
紙が入手しにくいのは、中国への輸出が主になり中・小
企業は商社を通して古紙を買うからです。原料費が高く
ついて困っています」と。

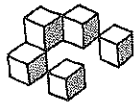
天竺の冬の森でネイチャーゲーム体験

ななか市民環境会議アジェンダ21が参画している、服部
天竺川周辺「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」推進
協議会では、天竺川のそばにあるフェンスで閉ざされた空
有効活用を地域の方と一緒に考えています。11月には秋
イベントとして、自然の中で子ども達と遊びながら生の音楽
を聴いたり、野外でのパン作りも体験しました。

は、冬の利用の提案として、ネイチャーゲームを体験し
ました。ネイチャーゲームとは、見る・聞く・さわるなどの感
覚を使って自然を直接体験するプログラムです。1月30日、
吹く中、大阪府ネイチャーゲーム協会の方の指導で、子
3人、おとな12人の参加者がゲームを楽しみました。
は、いろいろな種類の落ち葉を集める「ジャンケン落ち
り」、カードをもとにいろいろなものを見つけてまわる
「ワールドピング」、落ち葉や枝など自然のものを使って地
顔絵をつくる「モンタージュ」、自分たちの身体を使っ

て1本の木をまねる「木のシルエット」の4つでした。この場
所にいろんな自然のおもしろいものがあることを発見したり、
似顔絵がそっくりにできたり、みんなで協力して木になりきる
など、楽しいひとときでした。(井上)





生活部会

小学4年生に地球温暖化の授業をする

1月18日、大池小学校4年生3クラスに各2時限ずつ、スタッフ4人で「地球温暖化とエネルギー」の出前授業に行きました。

後日子どもたちの感想文をもらいましたが、なかに「せつめいを聞いてとてもわかりやすかったです」「もともと社会やゆめはきらいけど楽しくおぼえられてうれしかったです」「私はもっと水やガス、電気をこまめに消そうと思いました」「まだ知らない子たちに『今こういうことになっているんだよ』と教えてあげたいです」…などと書かれていて、このような感想文に元気をいっぱいもらいました。

今回の授業はかなりの冒険でした。4年生の子どもにも地球温暖化のことが理解してもらえるだろうかと言う不安です。でも今はテレビなどでいろいろな情報があるので、漠然とでも地球温暖化については知識をもっている、しかも吸収力が旺盛な年頃だから、ぜひ背伸びして知ってもらいたいと考えました。

授業のキーワードは、異常気象・地球温暖化・二

酸化炭素・エネルギーです。そのために地球温暖化をクイズ形式で子どもたちに楽しく語りかけました。用意した台風など異常気象のニュース写真も見てもらいました。



さらに、手廻しの発電機と二クロム線の火起こし機を10組、それらを使って子ども達全員に電気を起こす体験をしてもらい、その体験からエネルギーと言うものを感覚的に受け止めてもらい、いろいろなエネルギーの話にはいり、家畜のエネルギーの利用、石油や水力、風力などのエネルギーを描いたパネルを並

べて、二酸化炭素を出すエネルギー源など、便利な生活により地球温暖化がもたらされていることを話しました。3クラスに2時限ずつですから、私たちもかなりエネルギーが要りました。また全員に手廻し発電機を使ってもらうと、教室がざわついて後の授業がやりにくくならないかなど事前の心配もありました。でも、よい子ども達だったのでスムーズに話ができ、冒険だった出前授業を楽しく終えることができました。(奥野)

学習会 「かしこい暮らしの省エネ」

1月21日午後、くらしかん体験学習室で鈴木靖文さんを招き「かしこい暮らしの省エネ」と題した学習会を行いました。参加者30人。日常生活の省エネについての話は体験と具体的で数値に裏づけられたきめ細かいものでした。暖房の基本は「魔法びんの原理」によります—というのは実に合理的で納得。つまり、室内を暖めるだけでなく、暖気が逃げないようにすること、と説明されます。一般に、開口部から熱の逃げるロスが大きいこと、荷造りの緩衝材に使うプチプチをガラス面に張ると安上がりで暖房効果は絶大、と言うのはなるほどと感心。話の中で時々織り込まれるクイズも楽しいものでした。「部屋の暖房で二酸化炭素排出が少ないのは？」では、エアコンによるのが正解でしたが、これはまったく意外。最近のエアコンはヒートポンプ方式なので電気の使用量が小さく、部屋の空気をかき混ぜるよううまくできているのもあるし、そうでなくても



扇風機などで天井に溜まっている暖気が下に来るようにすればとても温かくなります、と具体的でした。

電気屋の店頭に並ぶエアコンについても、年間の電気代が小さく書かれているのに目をつけ、10年ぐらい使えば買うときの値段が高くてトータルすれば安くなるエアコンを買おうと言う話や、節水型シャワーなど、いろいろ教えられる講座でした。

第1回「とよなかエコ市民賞」を贈呈しました

環境への負荷の低減や自然との共生、快適環境の創造などに自主的、積極的に取り組んでいる3団体に「とよなかエコ市民賞」を贈りました。

選

考は11月9日、とよなか市民環境会議(会長：浅利敬一郎豊中市長、148 団体)の役員会で行われ、NPO アジェンダ 21 の新開理事長を含む15人の役員のみなさんにより、応募書類や「とよなかの環境 I ~2006 年度活動実績」、応募団体の方との質疑をもとに、授賞団体を決定しました。

第1回にあたる今年度は、応募が3団体と少なかったものの、どの取組みも環境活動の広がりや連携につながる素晴らしいものでした。



表彰式の様子

第1回「とよなかエコ市民賞」受賞団体

●ボーイスカウト豊中地区



ボーイスカウト団員が「子ども版環境をよくする行動計画」を実践するなど、子どもの環境活動を推進しています。

●豊中市マイバッグ推進協議会

市内店舗でのマイバッグ(買い物袋)持参率調査や、豊能地区合同キャンペーンを実施。レジ袋削減に取り組んでいます。



●リサイクル工房竹炭塾



竹林保全活動や竹炭作りを通して、自然の中で遊ぶ楽しさ、自然を守る大切さを学びあっています。

表彰式

2月16日には千里文化センター「コラボ」で表彰式があり、浅利市長による表彰状授与の後、それぞれの取組みの事例発表が行われました。

また、関連イベントとして、豊中市地球温暖化防止地域計画策定とストップ!地球温暖化デーを記念して、大阪大学大学院工学研究科教授の下田吉之さんによる講演会と、同センターの環境配慮設備の見学会が開催されました。

豊中の未来へ向けて

とよなか市民環境会議では、とよなかエコ市民賞を通して、環境活動の模範となる団体を表彰、紹介することにより、環境的に持続可能なまちづくりに向けた行動の輪が広がることをめざしています。

同賞がみなさんの活動の励みとなり、活動の広がりにつながるよう、たくさんのご応募をお待ちしています。

同賞がみなさんの活動の励みとなり、活動の広がりにつながるよう、たくさんのご応募をお待ちしています。

(☎6858-2128)

「とよなかエコ市民賞」の概要

- 主催:とよなか市民環境会議
- 協力:NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21
- 対象:豊中市内で環境活動に取り組む市民団体や地域団体、事業者、学校など
- 活動分野:循環型社会形成や、省エネルギーの推進、温暖化防止や、自然環境の保全にかかわる活動、その他環境にかかわる取組み
- 応募期間:平成19年(2007年)8月1日~9月30日
市広報やホームページで募集

スケジュールのお知らせ

エコSUN事業発電式
3月18日(火) 10時~10時30分
環境情報サロン

自然ふしぎ発見クラブ
「春を食べよう」
3月22日(土) 10時~12時
服部緑地 西中央広場

自然学習講座
「淀川から学ぶ 川の環境のとらえかた」
3月22日(土) 14時30分~16時30分
千里公民館第4講座室(コラボ3階)

竹炭焼きと窯だし(3月~6月)
毎月実施します。 9時~12時
千里中央公園 詳しくは事務局まで

おもちゃ病院(4月~6月)
第2土曜日 10時~12時
環境情報サロン

とよっぴー有料頒布(3月~6月)
第2土曜日&第4水曜日 10時~11時
緑と食品のリサイクルプラザ

編集室から

▼2月の大雪でバスがとまり、豊中駅で立ち往生。けっきょくモノレールの少路駅に回り家まで歩いた。雪道では転ばぬよう足下だけを見て歩く。四囲の風景を見ないと思考が内向きになる。雪の思い出から昔の日々に連想が広がる。1月の北海道で滑って転んだこと。その頃の己の生きざまなど…。(Z)

▼曾根・城山町段丘の自然観察をした。古い街並み、庭木の立派な藤井寺や西法寺。城山町1丁目の道沿いに美しい樹木があったが、2本は伐採され、クヌギ1本だけは地域住民の強い要望で地上8mで伐採されていた。とよなかの美しい自然がまた少なくなり残念です。自然を守り育てる活動に協力していきたい。(H)

▼自給飼料で家畜を育てようと牧草などを植えても山から鹿や猪などが下りてきて全部平らげてしまうと知り合いの農家は嘆いています。これも人間が生態系を壊した結果でしょうか。輸入のものに頼る生活は危ういと実感するこの頃ですが。(Y)

▼ここ2・3年は地球温暖化を実感することも多いですが、今年は2月に雪が積もり、冬らしい季節でした(寒くても嬉しいのはお得かも?)。この頃は、木々の花芽が膨らんできて、「冬来たりなば、春遠からじ」を実感しています。(K)

▼わが家のもうすぐ2歳になる子どもが、いくつかひらながなが読めるようになりました。おでかけしても、目につくいろんな看板やポスターなどの1文字を指差し、「す!」とか「ま!」などと叫びます。いろいろおしゃべりするのももうすぐででしょうか?(J)

▼練習場ではアイアンから少しずつ長いクラブに持ち替える。コースではドライバーからスタート。朝いちのティーショットはうまく打てた例が無い。もどかしさとの戦い。でもロングパットが決まった瞬間(快感!!)これがあるからやめられませぬ。(P)

ご寄付のお礼

豊中市環境情報サロンに太陽光パネルを設置する活動(1ページに関連記事)に、多くの皆さまからご寄付をいただきありがとうございます。募金活動は継続し、今後も太陽光発電パネルの発電量を大きくしていきたいと考えています。一人でも多くのかたにご協力いただきますよう、どうぞよろしくお祈りします。

環境クイズの答 ③のママコノシリヌグイです。葉や茎にトゲトゲがある草なのですが、こんなのでお尻を拭かれた継子は……涙。



《広報チーム》

Z奥野、H岡、Y小村、K荒井、J井上、P大村

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~toyonaka/>
Eメール ecoshimin@kmd.biglobe.ne.jp